



平成20年10月20日NO11 教職員の評価特集号  
京都市立室町小学校 校長 倉中 増夫  
(075)431-0358 Fax(075)431-0359

全国の北の地方では、紅葉のニュースが伝えられる季節になりました。さて、前期が終了し、後期に向けて子どもたちは新たに目標をもち、学習に運動にと活動を始めたところです。学年末のゴールまで、児童自らが立てた目標に到達できるよう教職員がどのような点に留意して児童の指導にあたるのかを「教職員の自己評価」として、まとめました。6つの項目について成果と課題、解決のための方策について、振り返りを行いました。ここで出された成果や課題を後期の取組に活かしてまいります。

## 前期教職員自己評価集計

\* 評価の数値は%を表しています。

評価項目	評価			
	A	B	C	D
<目指す子ども像について> 考え、表現する子・やさしい子・がんばる子に、子どもが育ってきている。	5	90	5	0
<ul style="list-style-type: none"><li>一人一人の成長は見られるが、「集団」としての力は不足している。友だちと助け合ったり、注意し合ったりする力を今後つけていきたい。</li><li>運動会の練習が入ってから、周りを意識する姿が少しずつ見られ、自分の力を発揮する場面やお友だちに声かけする場面が見られてきた。</li><li>機会あるごとに目指す子ども像に触れ、指導してきたつもりであるが、まだ不十分と感じる時がある。</li><li>「やさしい子」について、お友だちのいけないところや危険な行動をお互い言い合えるようになってほしいと指導してきた。</li><li>算数の授業では、自分の考えをみんなの前で発表できるようになってきている。</li><li>自分から進んで表現することが苦手な子どもが多いと感じる。間違いを恐れず、発表をできるよう取り組んでいきたい。</li><li>室町の子どもは、やさしく頑張るという事に関しては育っている。考え、表現する力は、授業の場でしっかりつけていきたい。</li><li>「やさしい子」には育ってきたが「考える子」は不十分である。</li><li>特に「表現できる子」というところに力を入れて取組をしているが、授業やそれ以外の場面で、できるだけ相手意識をもって話ができるように意識させている。そのことで、少しずつ話すことに慣れてきた児童がいる。今後も「話す機会」を様々な場面で設けていきたい。</li><li>みんなが認め合える学級作りや授業を通して、考え表現する子、やさしい子、がんばる子は育ってきていると思う。しかし、集団としての高まりについては課題が残る。学級として学年としてよい集団作りをしていきたい。</li><li>相手のことを考え声をかけることができる児童が少しずつ増えてきた。自分の考えを表現することが苦手な児童はまだ多い。発表の仕方や発表の聞き方が定着するように、授業内で発表カードなどをこれまで以上に利用し力を向上させたい。</li></ul>				

- ・ 4月に比べると少しの変化は見られるようになってきている。今後も、引き続いてできるように指導していく必要はある。
- ・ 学年や個人により差が大きいと感じる。表現力・考える力はこれからまだまだ育てていかなければいけない。
- ・ T2(支援教員)での個別指導でその子に合わせた指導で育ってきている面も見られる。
- ・ 考えることの楽しさ, 表現することの楽しさを味あわせる取組の充実を図る必要がある。
- ・ 学習プラス, 学習以外の行事や係活動などを通して育てたい。
- ・ 笑顔で勉強に遊びに夢中になってほしいと思います。
- ・ 登下校時自分から進んであいさつするようにしています。

< 総括 >

「やさしい子」「がんばる子」については、目指す子どもに育ってきている場面が多く見られる。しかしながら、今年度のテーマとしてあげた「考え, 表現する子」についてはまだまだ育てていかなければならないという意見が多いようです。室町校では、平素の授業を通して考え, 表現する力をつけていきたい。

評価項目	評価			
< 学年目標・学級目標について > 学年や学級の目標が子どもたちに意識され, 変容が見られてきた。	A	B	C	D
	8	84	8	0
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友だちと仲良くし, 学校生活を楽しいと感じる児童は多いようである。今後も人に優しくまた人に優しくできるよう指導していきたい。</li> <li>・ 4月から男女仲良く元気に遊ぶ姿が見られた。やさしく注意し合えるような仲間作りができるように声かけをしていきたい。</li> <li>・ 目標を教室の前の見やすいところに掲示し, 常に話し合ってきた。自分の思いや考えを学習面や生活面でも伝える機会を増やす工夫をした。担任を頼らず, お互いで伝え合い解決する場面が増えてきた。</li> <li>・ 自分の思い, 気持ちを伝えられる子が増えてきた。全体の前で発表することは, 全員はできないが, となりの友だちの意見の交流はできていた。</li> <li>・ 学級目標を常に意識させてきた。困っている友だちに優しく声をかけたり, 手助けしてくれたりする子を認め, クラスの中でほめた。友だちを大切にし, 誰とでも仲良くするように努力してきた。</li> <li>・ 前期の初めに比べ, 集中して学習できるようになってきた。学習や遊びの中でしっかり人の話を聞き, 相手を大切にする態度が育ってきているように感じる。</li> <li>・ 生活行動面で, 自分で考えて行動する力が不十分であるように思う。指導者, 親など大人の刺激があれば考えようとするが遠くから見守っていると自発的な行動がまだまだ少ない。リーダーを中心に子どもだけで考え, 声を掛け合うような経験を積ませるようにしたい。</li> <li>・ 様々な場面で目標が意識できるよう声かけをすることで意識して行動できている児童が増えてきている。常に意識できるよう声をかけていくことが今後も必要である。</li> <li>・ 仲間意識を育て, お互い認め合い共に成長していけるよう指導してきた。日常生活の中で, 良い点はほめ気になる言動については, 見逃さず指導するよう努めてきた。</li> </ul>				

- ・ 学年や学級の目標を意識することができるようになってきた。目標達成に近づけるよう、行事や授業でこれまで以上に意識をして活動することができるように、目標を確認して活動ができる場面を増やしていきたい。
- ・ 特に大きな変化は見られないが、学級目標を意識させるようにしていきたい。
- ・ T2（支援教員）での個別指導で、担任と連携しながらその子に合わせた指導で、少しずつ変容してきた。

< 総括 >

学年によるが楽しく、仲良く学校生活を送る目標については、おおむねクリアーできています。しかしながら課題である「考え、表現する」内容は、まだ到達点までは、届いていないことがあります。

評価項目	評価			
< 学習指導について > 各教科の基礎基本の内容が定着するように、指導の充実に努めた。	A	B	C	D
	12	88	0	0
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学びのパートナーの先生のおかげで担任一人では対処しきれない部分を補ってもらい、学習に遅れの見られる児童も少しずつ力はついてきているが、まだまだ時間を要します。</li> <li>・ 個別指導をすることにより、理解度が深まってきているように感じられる。</li> <li>・ 小さなミスでも必ず自分で直す時間を設定した。書く力、計算する力などは、伸びてきたように思うが、聞いたり考えたりする力をもっと伸ばし、話し合いが深まるようにしていきたい。</li> <li>・ 授業中理解が不十分だった児童については、放課後残してやるように努めた。</li> <li>・ 算数について特にノート指導に力を入れた。算数の苦手な子のがんばりをみんなの前でほめることで、自信を持ち、算数が好きになったという子が何人かいる。</li> <li>・ 特に算数科の指導に力を入れてきた。子どもに学習の足跡が分かるノート作りを行わせることで、学習に向き合う姿勢が変わってきたように感じる。</li> <li>・ 特に、学習漢字の多い4年なので、漢字の定着に力を入れた。</li> <li>・ 学習したことが分かりやすいノートの取り方を指導してきた。</li> <li>・ 児童の実態を把握し、机間指導や放課後の学習指導をすることで、基礎・基本の内容の内容が定着するよう努めている。できたことを認めることで学習に対する意欲が見られるようになってきた児童もいる。</li> <li>・ 子どもが興味をもち、意欲的に取り組めるよう、教材を工夫してきた。宿題だけでなく、自学自習の力をつけるために、学習予定表を活用し、90分学習を目指して取り組んでいる。個別指導の必要な児童の学力向上に努めたい。</li> <li>・ 色囲みなどを使いノートを丁寧にとることができる児童が増えてきた。今後更なる基礎基本の内容が定着するよう、自信をもって積極的に発表するため、発表の仕方や発表の聞き方を教えていきたい。</li> <li>・ 能力に応じた学力を探りながら進めている。自分たちが少しずつ「がんばろう」とする姿勢が見られるようになってきている。</li> <li>・ 基礎・基本だけでなく、見通しを持って考えること、進んで自力解決すること、伝え合いを通して、集団で話し合いを深めていくことができるよう、教材準備をしたり、ノート指導をしたりした。5年生には、簡単な補充学習を続けることで計算力を付けるよう努めている。</li> </ul>				

- ・ ティームティーチング，習熟度別学習を行っている。発展クラスでは，基礎・基本の学習内容を押さえた上で，発展的な問題に取り組ませている。
- ・ 子どもの実態の把握に努め，学習に対する興味・関心がもてる工夫をした。指導と評価の一体化を図る授業を心がけている。
- ・ 「ねらい」をはっきりさせると指導も充実する。

< 総括 >

少人数指導，協力指導，習熟の程度に応じた指導，個別指導，放課後の指導など，指導形態の工夫を行い，学力定着を目指していることが分かります。

指導者は，ノート指導を大切に行っているのが分かります。

さらに指導者は，教材の工夫を行い，子どもが関心をもって学習できるようにしています。

評価項目	評価			
	A	B	C	D
< 生徒指導・児童理解について > 一人一人の子どもの願いや生活背景を把握し，よいところを見つけ認めてきた。	39	61	0	0
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一人の良いところはできるだけほめられるよう努力してきた。</li> <li>・ 注意することが多くなりがちなか中，ほめることが出来るよう意識をもって見てきた。1日に1回は，児童一人一人に話や声かけができるよう気を付けていた。</li> <li>・ 児童の日頃の生活の中で，よい所が見つければ個々に，時には全体の場でほめるようにしてきた。これからも，一人一人のよさや個性を伸ばしていきたい。</li> <li>・ 誰も見ていないところで良いことができた子どもはその日のうちに，みんなの場で紹介したり，子どもたち同士で友だちの良いところを見つけ，みんなに伝える場を毎日設けたりした。給食時間は班をまわり，お家や習い事，その他の様子の話を聞くよう努めた。</li> <li>・ 一人一人の子どもを大切に，よいところを見つけみんなの前でほめるように努めた。また，保護者にも伝えるようにしてきた。</li> <li>・ 問題行動のある子どもを中心に保護者とともに子どもを認め合うことができるよう声をかけてきた。</li> <li>・ 保護者とも連携を図りながら，何が課題なのか，何が得意なのか自信をつけてやれるよう常に声かけをしている。なかなかゆっくり話をする時間が取れない。</li> <li>・ お互いに認めあう雰囲気作りに努めた。</li> <li>・ よいところを見つけ認めることで，学習に意欲的になってきている児童がいる。小さなことでも声をかけたり認めたりすることが，今後も必要であると感じている。</li> <li>・ 一人一人の子どもたちの生活背景や悩みなどを知るために努力してきた。(日記などを通して)気になる言動が見られた時は，個別に話し合いをし保護者とも連絡を取るようにした。</li> <li>・ 子どもの思いをもう少し読み取ることができるよう，子どもが教師に声をかけやすい学級の雰囲気を作っていきたい。</li> <li>・ 一人一人の良い点や良いところを認めながらほめて，自信がもてるように努め，思いを聞き，やる気を出せるようにしている。</li> <li>・ 主に算数の学習を指導して児童の頑張りをほめるよう努めている。</li> <li>・ 教科指導でノートを丁寧に見て，コメントでよいところを認めほめることで，子どもが変わってきた。</li> </ul>				

- 朝の登校時や登校後，休み時間などできる限り子どもの様子を観察し，関わりをつくって，よいところを見つけ伝えるようにしてきた。

<総 評>

他の項目に比べ，A のポイントが高いのは児童理解に努めたいという教職員の強い願いがある。声かけをして「ほめる」ことを個人にも，全体の場でも行うことで，お互いが認め合える集団にクラスにしていこうということがよく分かります。

評 価 項 目	評 価			
	A	B	C	D
<家庭との連携について> 保護者の思いや願いを把握し「学級通信」や家庭訪問で家庭との相互理解を図った。	20	80	0	0
<ul style="list-style-type: none"> <li>学級通信ではできるだけ今の子どもたちの様子を含め，必要なことは載せるよう努力したが，しっかりと読んでもらえない家庭もあるように感じた。</li> <li>週予定の保護者との文面のやりとりを通して，思いや願いを知ることができ，お互いに信頼関係が結べた家庭が増えたように思う。交流する家庭がもっと増えていくようにしたい。</li> <li>少しでも気にかかることがあれば，連絡帳，電話，家庭訪問などで，連絡をとるようにしてきた。</li> <li>学習予定表に保護者の欄をつくり，保護者の声が聞けた。家での様子，悩んでおられることがよく分かった。必要な時には，電話をしたり，家庭との連絡を密にしたりしてきた。</li> <li>各々の家庭に対して適切に対応できたかは分からない。まだ不十分だと感じる。後期はさらに一歩踏み込んで保護者と理解しあえるよう取り組みたい。</li> <li>学級通信が思うように出せていないが，週予定表のやりとりで保護者との連携をはかっている。</li> <li>気になることがあったら，すぐに連絡を取り，相互理解を図った。</li> <li>毎週の学習予定表（おたより）で学級の様子を報告している。また，保護者の方からの欄を設けることで連携を図っている。気になることがあった時には連絡を入れている。</li> <li>学習予定表などで，学校での様子を知らせるようにした。また，保護者の方からの欄を作り，家での様子や感想を書いてもらった。返事を書いたり，必要な時は連絡を取ったりして交流の場となりよかった。</li> <li>週予定にて，学校の様子などを伝えている。</li> <li>保護者とは，絶えず連絡を密にとり，必要であれば家庭訪問している。今後とも更に連携を深めていきたい。</li> <li>保健だよりやホームページを通して，連携をはかっている。個別対応もしている。</li> </ul>				
<総 評>				
学習予定表，学級通信，家庭訪問，電話連絡などで家庭との連絡を密にし，連携していこうとしている姿勢が強くでている。				

評 価 項 目	評 価			
<p>&lt;地域との連携について&gt; 地域と連携・協力した取組を取り入れ，地域の教材の発掘・活用に取り組んだ。</p>	A	B	C	D
	6	47	47	0
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前期は地域との関わりが少なかったので，後期の昔遊びなどの時間で交流を深められるようにしたいです。</li> <li>・ 生活科「町たんけん」では，地域の学習として，お寺や店などに出向き，インタビューをさせてもらったり，お話を聞かせてもらったりして，温かく協力していただけて有り難かった。</li> <li>・ 生活科の「町たんけん」では，地域の方々にお話を聞いたり，たくさんのことを教えていただいたりもしたが，この校区のことについて，より詳しく知ることができた。</li> <li>・ 総合的な学習の時間，繊維センターの所長さんにお世話になり，大変有り難かった。来年も引き続き，ご指導をお願いしたい。</li> <li>・ あまり取り組むことができなかった。後期は総合的な学習を中心に，地域の方々と取組をしていきたい。</li> <li>・ 総合的な学習において，環境について話してもらえる講師をクラスの保護者へ依頼して授業が実現できた。</li> <li>・ バケツ稲作りでは，地域との連携はできなかった。</li> <li>・ 地域と連携・協力した取組は今後していかなければならないと感じている。</li> <li>・ 地域との連携については，不十分な面もありますが，できることから参加するようにした。</li> <li>・ 米寿のお祝いで手紙を書き渡しにいったことで，老人会とのつながりができた。</li> <li>・ 地域行事になるべく参加できるようにしたいと思います。</li> <li>・ 地域の方々とあまり接する機会が少ないせいもあるが，自分から積極的に地域活動に参加すべきだと考えています。</li> </ul> <p>&lt;総 評&gt;</p> <p>前期終了時ということもあり，まだ地域との連携が不十分な教職員が多いようです。地域をもう一つの教室と考え，積極的に連携していくようにしていきます。</p>				